

たんぽぽだより



保育サロン
たんぽぽ(子)

2022年 9月号

暑い夏も終わりに近づいています。さあ！秋です！
たんぽぽは、次の行事10月1日開催予定の運動会に向かって運動遊びなど取り入れています。

今年も、感染症対策に十分気をつけながらの、開催になります。
たんぽぽの運動会は、「楽しめる運動会」を目指していますが、コロナウイルスが流行りだした2020年の運動会から、「家族で安心して楽しめる運動会」の内容に大きく変化しました。おかげで子ども達の笑顔がたくさん運動会になりました。『がんばる』ではなく『楽しく』です。どうすれば子ども達や保護者の皆さん、そして職員が楽しめるかを、みんなで考えています。楽しみにしててくださいね。

ただし、子ども達は、たくさんの人の前に出ることが初めての体験で、思うように出来ない事もあるでしょう。泣いたり怒ったりもあると思いますが、それは子ども達が頑張っている証拠です。
終わったら、「がんばったね」ってハグしてあげてください。

運動会についてのお願い

当日の参加者は、同居のご家族を基本に大人は2名までの参加をお願いします。
まず、当日参加予定の方のお名前、体調確認表を前もってお渡しします。

- ・運動会の練習は水筒を持って出ます。水筒は肩から下げられるようにしてもってきてください。
- ・練習は園庭など外で行います。走ったり跳んだりたくさん動きますので、登園は、足に合った運動靴と長めのズボンをお願いします。
- ・運動会は、東部スポーツ広場・サブアリーナです。室内となっていますので、室内用のシューズが必要になります。子どもさんの足に合ったシューズの準備をお願いします。どんなものが良いかわからない方は、担任に聞いてください。13日(火)までにシューズ入れに入れて必ず靴・袋に名前を書いて園に持たせてください。(当日は保護者の皆様も室内用のシューズを持ってきてください。)

8月の苦情・ご提案について

ご近所の方から、「お迎えの時の車で通りにくい」とのご指摘が有りました。お迎え時にごみ置き場に3台止まっている場合は保護者駐車場をお使いください。また出来るだけお迎えの混雑を避ける為、前もって帰りの準備をしますので、お迎えの時間をお知らせください。よろしく願いいたします。

今月の目標： 運動会に向けて、身体を動かすことを楽しむ。

つぼみ組【0歳児】： 欲求や甘えたい気持ちを満たしてもらい、安心して過ごせるようにする。戸外に出ることを喜び、まわりのものに興味・関心を持てるように声掛けする。音楽に合わせて自由に身体を動かせるように配慮する。

もも組【1歳児】： 気温や体調の変化に十分に留意し、健康に過ごせるようにする。保育者や友達と一緒に、全身を使って遊ぶことの楽しさを味わう。

ゆり組【2歳児】： 夏の疲れや健康に留意し、快適に過ごせるようにする。秋の気候のなかでさまざまな運動遊びを楽しみ、運動会への意欲を持つ。

9月の保育内容

養護

つぼみ組： 睡眠の欲求をタイミングよく満たし、機嫌良く食べ、遊べるようにする。保育者に気持ちを受け止めてもらい、心地よさを感じる。思いや欲求が通じるという安心感をもてるようにする。保育者の言葉かけに応じて、身の回りの事に参加しようとする。

もも組： 気温差がある時期なので室内では室温・湿度の調節をしつつ、一人ひとりの体調に留意しながら衣服の調節を行う。表情や仕草、言葉で伝えようとする気持ちを受け止め、保育者が子どもの思いを言葉にして応えることで、伝わる喜びが味わえるようにする。

ゆり組： 保育者に自ら尿意を伝えてパンツやズボンを自分で下ろして排泄しようとする。午前中に十分身体を動かし、ゆったりと午睡が出来るように配慮する。意欲的に身の回りの支度を行い、達成感や自立心を持つ。うまくいかないことは保育者に手伝ってもらうことで、安心感を持って過ごす。

教育

つぼみ組： エプロンの着脱や手拭き、食事前後のおむつ交換、衣服の着脱では、具体的な言葉で伝え、子どもから身体を動かそうとするのを待つようにする。子どもの食べるペースに合わせて、言葉かけしながら、自ら食べようとするのを待つ。わらべ歌などを通して、保育者と楽しい気持ちのやり取りをしたり、真似したりする。興味がある物を指差したり、喃語で伝え保育者に応えてもらい安心して遊ぶ。マットの上まで登ったり、パーティションの間を通ったりして自由に動き回って楽しむ。運動会の体操の曲に合わせて、振り付けを真似したり、自然と身体を揺らしたりして楽しむ。

もも組： スプーンやフォークの正しい持ち方を覚える。最後まで椅子に座り自分で食べようとする。ハイハイやトンネルくぐり、かけっこなど全身を使う遊びを楽しむ。ズボンや靴下、靴などの着脱に興味を持ち保育者と一緒にやってみようとする。気の合う友達と一緒に好きな遊具や遊びを見つけ遊んだり保育者や友達、物の名前に興味を持って声を出して呼んでみたり、言葉のやりとりを楽しむ。戸外遊びや散歩などで身近な秋の自然に触れる。歌や音楽に合わせて体を動かしたり、保育者の真似をしたりして踊ることを楽しむ。

ゆり組： 苦手な食べ物も少しずつ食べてみようとする。のびのびと運動遊びを楽しみ、さまざまな身体の動かし方を知る。簡単な再現遊び（お母さんごっこ、お店屋さんごっこ）などを通して、友だちとイメージを共有しながらいっしょに遊ぶ楽しさを味わう。敬老の日について知り、身近なおじいちゃん・おばあちゃんへ「ありがとうの気持ち」を伝える。コスモスやキンモクセイなど秋の自然について知り、散歩中などに見つけて香りを嗅いだり観察したりする。歌を歌ったり曲やリズムに合わせて、のびのびと表現する喜びを感じる。